

# Shokuhin News -2009 March-

神戸大学 農学部 生物機能化学科 食品・栄養化学研究室  
〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1 電話 078-803-6553 Fax 078-803-6553  
e-mail: shoku@kobe-u.ac.jp http://www.kobe-u.ac.jp/shokuhin

## News

### 学位記授与式

3月25日(水)神戸市のポートアイランド・ワールド記念ホールにおいて、平成20年度の学位記授与式が開催された。式典終了後、農学部 B101教室にて岡山高秀講座長から一人ずつ学位記が手渡され、修士の上田啓輔、田中麻貴、谷芳能、中林秀郎、前田太史、吉村和人(計6人)と学部の石垣順子、河野裕明、下秋智寛、高見優、桃田拓郎(計5人)が修了・卒業証書を受け取った。

その後、毎年恒例の祝賀会が LANS BOX において開催され、その後には、金沢教授の部屋での懇親会が催された。ここでは金沢教授がシャンパンとケーキを振舞って下さり、在校生から修了生へ記念品の花束と寄せ書きが、修了生からは空気清浄機がそれぞれ贈呈された。この空気清浄機の贈呈には在校生一同大喜びであり、特に花粉症を患っている学生にとっては修了生が神様の様に見えたことは言うまでもない。

なお、橋本は卒業生の非常識さなどに腹を立て、今回の修了生や修了生を祝う気はないと豪語し、大井氏や糖鎖機能化学研究室内の学生と共に他の研究室の卒業パーティをハシゴして楽しんでた。



空気清浄機を受け取る東陽介(M1、左)と贈呈する吉村(右)。その様子を見守る辻上沙希(M1、中央)。



記念品の花束を贈呈する東(左)と笑顔で受け取る上田(右)



金沢教授の部屋でのパーティでの記念写真。写真撮影よりも石垣(B4)の着物姿に夢中な金沢教授。



修了生と卒業生に辻上を加えて記念撮影。撮影はプロの写真屋さん。

パーティ終了後は、修了生と卒業生で生応用生命化学講座・生物機能化学科の各研究室を訪ね、お世話になった先生方にお礼の挨拶をして回幕を閉じた。

通常は、このあと研究室の二次会があるが、学生のノリの悪さなどが全面に出たのであろう。二次会の開催もなく前代未聞のつまらない卒業式・修了式が終了した。

それでは修了生・卒業生を代表して桃田(B4)がコメント。

無事卒業できてきてホッとしています。研究室生活はあと2年ある

ので4月から気持ちを新たにがんばります。

B4 桃田拓郎

なお、修了生・卒業生の進路は以下の通り。

修了生)

上田啓輔: 明治乳業(株)、田中麻貴: 武庫川女子大学助手、谷芳能: WBD(株)、中林秀郎: オリエンタル酵母工業(株)、前田太史: 上野製薬(株)、吉村和人: 不二製油(株)

卒業生)

5人全員進学(神戸大学大学院農学研究科)

修了生、卒業生ともに4月から新たな生活が始まりますが、当研究室での経験を生かして頑張ってください!! また、胸を張って卒業生・修了生と言える方はいつでも研究室に遊びに来てください!!

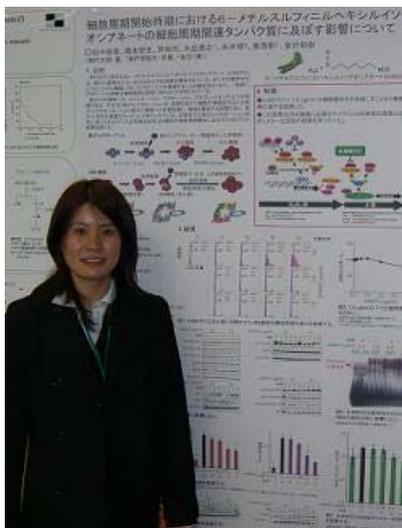
### 辻上沙希・中退

修士1年の中の紅一点、光り輝いていた辻上沙希(M1)が、3月末をもって大学を退学することになった。理由は大阪府公務員試験に合格し、4月からは大阪府での薬学職に就くことになっている。彼女は、平成20年3月に摂南大学薬学部を卒業後、当研究室に入学したが、薬剤師という資格をもつ一方で、新たな分野にも興味をひかれていた。今回は運あつての大阪府公務員採用となったが、新しいことにチャレンジする気持ちは持ち続けることであろう。昨年12月のマラソン大会では、研究室1位という記録でゴールを果たした彼女。来年は当然ディフェンディングチャンピオンとして参加してくれるものと期待している。

辻上さん、頑張ってください!!  
それからマラソン大会待っています!  
す!

## 日本農芸化学会 2009年度大会

3月27日(金)から29日(日)にかけて、福岡県の福岡国際会議場・マリンメッセ福岡において日本農芸化学会2009年度大会が行われた。田中麻貴(M2)、中林秀郎(M2)、下秋智寛(B4)の3名がポスター発表を行った。下秋にとっては初めてのポスター発表ということもあり、ポスター作りに少々戸惑った部分もあったようだが、現時点での最大限の準備をしたようである。しかし、橋本助教からは、「時間がなかったので、とりあえず応急処置で仕上げた未完成ポスター」と完全なるダメ出しを受けた。また、福岡の美味しいものと言えは、ホルモン鍋、博多ラーメン、中洲の屋台や玄界灘の鮮魚など。ということで3人は橋本助教とともに2晩かけてこれらの料理を堪能した。ただし、心残りは水炊きを食べ損じたことである。



ポスターの前で微笑む田中。

それでは発表者を代表して下秋(B4)がコメント

初めての学会発表ということで、ポスター作りから学会当日のコアタイムが終わるまでずっと緊張しっぱなしでした。先生や先輩方に多くの助言をいただき、なんとか

無事にポスター発表を終えることができました。本当にありがとうございました。学会では、他大学の方の優れたポスターを見て、自分の実験技術の未熟さを痛感しました。また、自分と同分野の研究をしている方の話を聞くことができ、大学院での研究生活へのモチベーションがあがりました！学会以外でも、博多名物のもつ鍋、博多ラーメンを橋本先生、田中さん、中林さんと一緒に堪能できたのも楽しい思い出になりました。今回、学会で得た知識などを今後の研究に生かして大学院生活を頑張っていきたいと思います。

B4 下秋 智寛

### 大井直美一時帰国

3月17日、爽やかなミネソタの風と共に大井直美氏(2008.03 博士)が研究室へ約一年ぶりの里帰りを果たした。久しぶりに拝見した大井氏は、その美貌にますます磨きがかかっており(?)、仲の良かった上田啓輔(M2)や谷芳能(M2)などと懐かしい話に盛り上がっていた。さらに大井氏は3月25日の学位記授与式にも再び現れ、橋本助教や糖鎖機能化学研究室の坊池君(M2)とともに学生時代お世話になった先生方の研究室へ挨拶に回っていた。



糖鎖機能化学研究室の坊池(右、M2)と記念撮影をする大井氏(左)

### ～大井直美のミネソタの風～ 第3弾

ミネソタの風も第3弾を向かえ、極寒の地ミネソタにもようやく春がやってまいりました。1年のうち約半年が冬といっても過言ではないミネソタ。今からの数ヶ月間で1年分の日光浴が必要です。そこで、早速近所にある Nature center で日光&森林浴。車で10分程度の近場にこんな自然がある我が町オーステン。田舎ですね。



Jay C. Hormel Nature Center にて

そして、研究が一段落したこともあってボスから休暇をもらい、3月9～27日まで一時帰国することに。3週間の休暇でなぜか3回も神戸大に出没する暇人、大井。3月といえば卒業式！ということで、どさくさにまぎれて各研究室へのあいさつ回りに乱入。お世話になった先生方にお会いでき、久しぶりに楽しい時間を過ごすことができました。



乱入者を快く迎えてくださった大野教授

今回は遊んでばかりのミネソタの風でした。しかしミネソタ生活も1年が経ち、研究所には次々に新しいポスドクがやってきます。いつまでも新人気分ではいられず、ボスから論文はまだかーと催促される日々。まだまだ甘ちゃんながら、

phDの重みを感じる今日この頃です。

#### 訃報

第22回(平成7年3月修了)修了生、恋田一馬氏がお亡くなりになりました。お通夜は3月23日、ご葬儀は3月24日に神戸市灘区の西念寺にてしめやかにおこなわれました。

恋田氏の修士論文テーマは「Angiotensin I Converting Enzyme Inhibitors Derived from Peptic Hydrolyzate of Cotton Seed Proteins」。修士課程修了後はアストラゼネカ株式会社に勤め、臨床研究など携わっていました。

ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

食品・栄養化学研究室一同

#### 業績

学会発表)

日本農芸化学会 2009 年度大会  
(3月27日～29日、福岡国際会議場・マリンメッセ福岡、福岡)

○中林秀郎、橋本堂史、芦田均、西海信、金沢一樹「脂肪細胞の分化及び脂肪蓄積に対するメチルキサンチン類の影響」講演要旨集 p.229

○田中麻貴、橋本堂史、芦田均、水品善之、永井雅、奥西勲、金沢一樹「細胞増殖開始時期における6-メチルスルフィニルヘキシルイソチオシアネートの細胞関連タンパク質に及ぼす影響について」講演要旨集 p.229

○下秋智寛、橋本堂史、岡本真弓、永井雅、奥西勲、金沢一樹「西洋わさび葉由来ケンフェロール配糖体の体内吸収と薬物代謝第二相酵素の活性化効果について」講演要旨集 p.230

#### 編集後記

とうとう卒業式を迎え大学を卒業することとなりました。今思えばあつという間の4年間でしたが、特に研究室に入ってからの1年間はまさしく光陰矢のごとくあつという間でした。4月からは大学院生となり、授業も始まるなど何かと忙しくなりそうですが修士としてきちんとした計画を立てて、内容の濃い2年間を送りたいと思っています。

B4 河野 裕明